

原著

瘻孔造影を併用した安全なPEGカテーテル交換法

中村誠志，時田捷司

登別厚生年金病院 外科

[和文要旨]

経皮内視鏡的胃瘻造設術（percutaneous endoscopic gastrostomy：PEG）が広く行われるようになったが、PEG（術）後のカテーテル交換時の瘻孔損傷や腹腔内誤挿入などの重篤な合併症は完全に防ぐ事は出来ていない。そこで我々は、透視下でのPEG（術）後のカテーテル交換時に瘻孔造影を併用することが、交換手技そのものの安全性を向上させ、重篤な合併症を防ぐ一助となり得るかを検討した。

40症例を対象とし、ガストログラフィンを用いて瘻孔の直接造影を行い、瘻孔破損が無いことを確認し、瘻孔の方向を確認しながら、交換用バンパー型カテーテルの挿入を行った。全交換手技は合併症の発症無く行うことが出来、瘻孔の方向は多様であった。

瘻孔造影を併用したPEG（術）後のカテーテル交換法は、瘻孔のより自然な方向にむけて、最小限の抵抗での挿入を可能とし、カテーテル挿入時の瘻孔破損のリスクを低減出来る方法と考えられた。